

かけはし

WELFARE INFORMATION

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
平成26年1月15日発行 ■電話（079）662-0160 ■FAX（079）662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/

明けましておめでとうございます 午 2014



▶今年も良い年でありますように、笑顔でポーズをとる児童（12月17日、大屋小学校）

大屋小学校5年生

大屋小学校では、「ふるさとを愛し、自ら考え行動するたくましい大屋っ子の育成」を教育目標とし、さまざまなことに挑戦しながら地域に開かれた学校づくりを進めています。

今年、年男年女を迎える5年生。昨年は、地元のみなさんの協力を得て「米づくり」に挑戦。農業についての理解と食の大切さを学ぶなかで、地域住民との交流を深めました。

「素直に元気がよいのクラスです」と話す担任の森井陽子先生。新しい年のスタートにあたり「志を高く持って、努力のできる人に育って欲しいと思います」と、メッセージを送りました。

栗田侑季さんは「出会う人へ元氣よく挨拶をしていきたい」
正垣勇樹くんは「家の仕事に挑戦したい」
中尾日瑠里さんは「けじめをつけて、集中して勉強したい」

本田唯華さんは「困っている人がいれば自ら声をかけたい」
松上かおりさんは「下級生の手本となるよう行動したい」と、それぞれ今年の抱負を話していました。

平成26年



福祉のまちへ新しい風

心に誓う新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

本年も広報「かけはし」をよろしく申し上げます。

さて、新年号は、地域の皆さまにご協力いただき、今年の抱負やどのような福祉のまちにしたいか語っていただきました。



小島 朋巳さん（関宮）
関宮に引っ越してきて2年が過ぎ、家族も一人増えて毎日充実した日々を送っています。
日頃よく思うのが子育て中の親子の交流です。子育てをしている人たちが気軽に集まり相談し合える場を作り、時には託児などを行えるような環境作りができれば良いと思います。



上垣 やえみさん（蔵垣）
下肢障害のため仕事を辞めています。これなら私でもできると爪切りと耳そうじボランティアを思いつき、作業所といきいきサロンで活動しています。
「年をとってもハンデがあっても安心して笑顔で暮らすまち」になってほしいと思います。



▲高柳地域のひとり暮らし高齢者の交流会の様子。自治協議会やボランティアが中心となり開催しています

矢野尾 清佑さん（高柳自治協議会）
高柳自治協議会は4年目を迎えるとともに新たに街づくり計画が実行される年でもあります。
福祉の街づくりの三本柱は①地域福祉と介護②高齢者の移送手段の確保③健康づくりです。「たすけあい、かたりよくある、やさしい、たかやなぎ」をキャッチフレーズに健康で思いやりのある地域づくりを目指します。



田村 すみさん(森)

傾聴ボランティア「みみの会」で養父地域8人の会員と2カ月に一度、福祉施設で活動しています。

利用者さんの心に寄りそって話を聞くことで、その方が癒されたり、心が軽くなったりして幸せを感じていただけるとの心がけています。私たちも人の役に立つ喜びと幸せを感じながら、今年も充実した活動ができることを願っています。



田村 芳朗さん(和田)

「社会福祉の基本は、個人を大切にすることにある」、高齢者の長い人生経験での知恵や技術などと、若い方々が活動力を活かして福祉活動に参加いただくことにより、互いが福祉推進をめざして支えあうまちづくりをしたい。



絵：松村明子

田路 初美さん(中八木)

誰にもやさしいまちづくりにもやさしいまちづくりに少しでもお役に立てれば、また見聞を広め自分を高めるために「精神保健ボランティア養成講座」を受講しました。先輩たちの活躍をお聞きし、私も1月からボランティアに参加させていただこうと心新たにしております。



岩崎 洋子さん(関宮)

母の介護に携わって6年目です。たんぽぽの会(介護者の会)に参加するようになってから、他の方の同じ悩みを聞けて、皆さんも一生懸命に介護されているのだなと思えました。

これからもたんぽぽの会に参加して勉強をしたいと思えます。

片岡 なつ子さん(上箇)

3年前、地元の仲間7人で「ひだまり会」を結成し、年6回、地域の皆さんが交流する「ふれあい喫茶」を開催しています。回を重ねるごとに参加者に笑顔があふれ、ひだまり会のチームワークも強くなっています。

これからも喫茶を続けていき、同じ地域に住む皆さんがつながって、支え合えるまちになってほしいです。

新年あいさつ



養父市社会福祉協議会 会長 藤川 昭男

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は社会福祉協議会に對しまして格別のご支援とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

我が町では、少子高齢化や人口減少が進行するなかで人と人の繋がりが、人と地域との繋がりが薄れてきています。人は一人だけでは生きることができません。お互いを認め合い、共に繋がりが支え合える地域社会づくりが必要です。社協は暮らしの場であり、生活の場である小地域での福祉の向上に向けた活動の推進に本年も取り組みます。

最後に本年が皆さまにとって幸せ多き一年となりますよう祈念し年頭のごあいさついたします。

地域をこえて見守りあい活動を報告

第2回地区福祉委員会

11月28日、高柳地区から始まった今年度第2回目の地区福祉委員会は、各地域で工夫を凝らして展開している見守りあい活動の実践報告を行いました。

八鹿地域 地域に関心を もつことが大切

11月28日から12月9日にかけて6地区に分かれて開催した八鹿地域。高柳、伊佐、八鹿下、八鹿上地区では堀畑区福祉連絡会が、また小佐、宿

南地区福祉委員会では下八木区福祉連絡会が、それぞれ実践報告を行いました。

12月9日の八鹿上地区福祉委員会には、11行政区から55人が参加。最初に、堀畑区前区長の下村英規さんが、同区全戸で取り組んでいる見守り活動「幸せの黄色いハンカチ運動」



▲堀畑区の福祉活動を報告する下村さん(=12月9日、八鹿公民館)

について、映像を交えながら報告しました。見守り旗を朝、軒先に掲揚し、夕方取り込むことで近隣住民がお互いに見守り合うこの活動は、全国的にも注目を集めています。下村さんは、最初に時間をかけて話し合

いを重ね全世帯で取り組んだことが、区の連帯意識につながったこと、現在は区民が気軽に集うことで、心身の健康づくりを行う「ホームサロン」の活動が、参加者の自主的な活動として定着してきたことなどを話し、「見守りあいのシステムをつくることで、お互いが気づかいあい、共に生きる雰囲気や区の中に息づいてきた」とまとめました。

参加者はその後、自分たちの地域にあった見守りあい活動について話し合いました。「まわりに目を向け、地域に関心をもつことが必要であり、大切なことだとわかった」「見守りあい活動について、早速、区で話し合う場をもちたい」など活発な意見交換が行われました。

養父地域 活動を継続していく 大切さを学ぶ



▲全員でやぶからぼう体操。「うちの区でも取り入れよう」との声も(=12月16日、コミュニティセンターやぶ)

しています。また福祉委員が水やりをしてひとり暮らし高齢者宅などを友愛訪問する「夏のエコカーテンづくり」や、老人クラブ有志のメンバーが「ちよつとたのまれ隊」を結成し、支援を必要とする人にゴミ出しをしたり一緒に買い物に行ったりするなど、見守りやボランティア活動が活発に行われています。

発表をした上田力区長は「毎日区民が集まる場があると、健康づくり仲間づくりにつながります。区民みんなが健康で活力ある地域になるよう活動を続けていきたいです」と話しました。

参加者は「男性がボランティア活動に積極的に参加していることが素晴らしい」「地道に活動を継続していく大切さを学んだ」と感想を述べ、「今日の発表が刺激になった。今後は定期的に交流の場をつくり、地域の輪を広げていきたい」との意見が出されました。

大屋地域
情報を責任を持ってつなぐ

大屋地域では12月5日から12月16日まで4つの地区で福祉委員会が開催されました。

12月5日の西谷地区では6区33人が参加し、大敷区福祉連絡会「大敷ひまわりの会」代表の服部美智代さんと区長の堀井克夫さんから実践報告を聞きました。

同区では、毎月の定例会での情報交換を軸に、ふれあい喫茶や見守り活動に取り組んでいます。

「活動をとおして区民同士のつながりが豊かになり、生活の困りごとを聞くようになる



▲大敷区では、年6回ふれあい喫茶などでお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、カルタやケーキづくりなどを楽しんだりしています



▲「これからも毎月集まろうで」自分たちの区の良いところも再確認しました(=12月5日、西谷公民館)

りました。それらは定例会につなげていきます。定例会は井戸端会議にならないよう守秘義務を徹底しています」と報告しました。

参加者から「メンバーが仲良く、積極的に取り組んでいるのが素晴らしい」「情報を責任を持って収集することで、地域の人が安心できると感じました」と感想が聞かれました。

また、自分の区に合った活動を考えるなかで「定例の福祉連絡会を持ちたいです」「お嫁に来た人が地域に慣れるきっかけづくりとして福祉の活動ができれば」などの意見が出され、活動の振り返りや、新しい取り組みの話をする機会になりました。

宮城地域
気になる人をみんなで気にする

関宮地域では、12月4日から17日にかけて、4会場地区福祉委員会を開催し、96人が参加しました。

12月4日、出合地区では筏区福祉連絡会の中尾和美さんと近藤富乃さんから実践報告がありました。

同区では「つなげよう 笑顔で声かけ 心の和」を活動のスローガンにして、見守り活動や交流事業に取り組んでいます。

「連絡会の活動には普段からの見守りや声かけ活動が基本にあります。みんなで情報を共有し、気になる人をみんな



▶筏区福祉連絡会の活動についての報告(=12月4日、であいの里)

なで気にする」ようにしており、出会ったときや交流事業をするときなどに活かしていきます」「今年のクリスマス会も子ども会と一緒にする計画をしています。高齢者だけでなく、いろいろな世代の人たちとかかわり、私たちも楽しみながら今後も活動を続けたい」と話しました。

「福祉連絡会の皆さんが共に楽しむという考えで行うことが良いことだと思います」「気になることがあれば連絡会で共有することは大切なことだと感じました」と参加者は話していました。

17日の大谷地区は、鶴縄区福祉連絡会の片芝章雄さんを迎え、「ほっとできる場 ふれあいサロンで見守りあい」をテーマに報告がありました。

同区では、公民館を拠点にした「いきいきサロン」を定期的に開催し、見守りあいを進めています。

「隣近所での見守りあいの基本です。気になる様子を見かけたら声かけするよう心がけていますし、サロンを開催

▲鶴縄区の報告を受け、自分たちの区でできる見守りあいについて考えました(=12月17日、関宮ふれあいの郷)



する時は、案内チラシを手渡ししながら気を配っています」「福祉連絡会と連携しながら、区のボランティアグループが、ひとり暮らし高齢者宅へ手作りのお弁当を届ける友愛活動をして、見守りの輪を広げています」と話しました。

参加者からは「自分たちの区も、『ささえあい・要援護者登録申請書兼カード』があるので、まずは、その世帯の方から気にかけていくことが大事だと思います」と感想が聞かれました。

市 父 善 意 銀 行

車いすやとびだし防止人形など

希望の行政区と団体へ寄贈

広報かけはし111号でお知らせした、養父市善意銀行からの払い出し物品を、希望のあった次の行政区とPTAに寄贈しました。

● 費用折りたたみ椅子

(135脚)

- ▽大江區▽川東區▽稲津區
- ▽大藪區▽口米地區▽夏梅區▽糸原區▽門野區▽三宅區▽向三宅區▽安井區▽奈良尾區▽大久保區 各10脚
- ▽福定區 5脚

● とびだし防止人形 (85体)

- 屋外用ベンチ (12台)
- ▽諏訪町區▽下小田區▽上藪崎區▽大塚區▽相地區▽八木谷區 各2台
- 車いす (6台)
- ▽下八木區▽中米地區▽鉄屋米地區▽中區▽別宮區▽草出區 各1台



▶ 中米地公民館



▶ 夏梅公民館



▲ 国道9号線沿い万々谷区横断歩道付近

費用折りたたみ椅子の寄贈を受けた川東區の高木俊雄区長は「公民館を利用される高齢者の方は膝の痛い方が多く、畳からの立ち上がり等に苦労されていきましたので、皆さんに有効に使っていただきたいと思えます」と話していました。

- ▽八鹿小学校 PTA
- ▽伊佐小学校 PTA
- ▽高柳幼・小学校 PTA
- ▽建屋小学校 PTA
- ▽広谷小学校 PTA
- ▽養父小学校 PTA
- ▽大屋小学校 PTA
- ▽関宮小学校 PTA 5体

子育てサロン・放課後プレパークの案内

- 子育てサロンそよ風
 - 日 時 1月27日(月)
 - 2月3日(月)・10日
 - 2月17日(月)
 - 場 所 ふれあいいきいきサロンそよ風
- 子育てサロン高柳
 - 日 時 1月22日(水)
 - 場 所 高柳ふれあい倶楽部
- 子育てサロン関宮
 - 日 時 1月27日(月)
 - 場 所 関宮ふれあいの郷
- 子育てサロン伊佐
 - 日 時 2月3日(月)
 - 10:00～11:30
- ◆ 大屋放課後プレパーク
 - 日 時 2月3日・17日(月)
 - 14:30～16:00
 - 場 所 大屋小学校
- ◆ 関宮放課後プレパーク
 - 日 時 2月14日・28日(金)
 - 14:30～16:30
 - 場 所 関宮コミュニティスポーツセンター(旧関宮小)
- 子育てサロンすくすく
 - 日 時 2月18日(火)
 - 10:00～11:30
 - 場 所 三宅団地集会所
- 子育てサロン伊佐ふれあい倶楽部
 - ※「豆まき」を行います

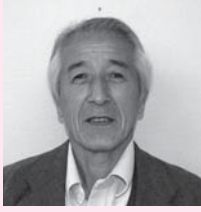
第一学院高等学校養父校 善意銀行・共同募金委員会へ寄附

11月23日に第一学院高等学校養父校(大谷)で行われた文化祭「五好祭」のバザー売上金48,800円を養父市善意銀行に寄附いただきました。また、生徒たちが道の駅但馬の蔵で募金活動を行い集まった12,647円を養父市共同募金委員会へ寄附いただきました。



▶ 生徒から寄附金を受け取る 藤川会長

今月の かけはしさん



むらさき さだ お
村崎 定男さん
(奥米地 区長)

地域の高齢化が進む中で、人が集い心ふれあう場をつくらうと、3年前に「奥米地おたのしみ倶楽部」を立ち上げました。

きっかけは、社協の校区福祉委員会に参加して、地域の取り組みや情報を聞いたことです。

この会は、福祉委員を中心に年10回程度開催しており、内容は喫茶・体操・ゲーム・会食などバラエティに富んでいます。

毎回多くの参加もあり、今では区にとって欠かせない大切な事業です。今後もしっかりと続くことを願っています。



善意銀行だより

平成25年11月16日〜平成25年12月15日(敬称略)

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています

▼香典返し

上八木 小林 博紀 30,000円

朝倉 田和 良之 30,000円

小山 濱 富子 30,000円

大坪 岸本 宏幸 30,000円

養父市場 田村 勇 30,000円

中 杉尾むつ子 30,000円

宮本 上村 文男 50,000円

大杉 正垣 宏子 50,000円

若杉 秋山 富男 30,000円

夏梅 杉尾 孝志 50,000円

和田 小倉 大幸 26,000円

大屋市場 上中 繁夫 30,000円

中瀬 太田垣和志 30,000円

三宅 藤原たまゑ 30,000円

関宮 西口 正俊 30,000円

轟 尼兎 昌一 30,000円

三宅 福垣 幸政 30,000円

善意の寄附

匿名 1人 5,000円

匿名 1人 3,993円

絆歌謡愛好会 福山ひふみ 金一封

チャリティ歌謡フェスティバル 収益金

伊佐校区自治協議会文化部会

但馬長寿の郷まごころクラブ 陶芸チーム 30,000円

歳末たすけあい指定預託

実相寺 67,710円

高柳八木仏教会

27,110円

みふね陶芸講座生一同、とが山陶芸クラブ一同

7,182円

五好祭バザー売上金

第一学院高等学校養父校 48,800円

募金箱設置収益金

薬局あさの 薬局きらら 19,610円

物品の寄附

朝倉 マフルー 中島 光子

大屋市場 森本 源治

じゃがいも たまねぎ

夏梅 鎌田 肇

葉ぼたん 小林 吉美

大谷 長ねぎ

関宮 西口 正俊

匿名 9人

紙おむつ かぼちゃ

紙おむつ さとしも もち米 栗

よもぎ 使い捨て手袋

白米 ゆず やまいも

はがき

◆寄附金合計

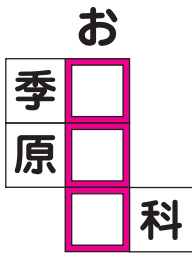
89万5,405円

●ありがとうございました。

パズルだより

□にあてはまる漢字の文字を考えると、こぼを完成させましょう。

■ヒント お正月は数の子やエビ、伊達巻など縁起物を食べます



■応募方法 はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」を「ご覧になった」意見・ご感想をお書き添えの上、「ご応募ください」。

正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■×切 平成26年1月31日必着

■応募先 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320 「福祉の社」内 養父市社会福祉協議会 FAX 662-0161

★前回の答えは

『除夜の鐘』でした

- 日下部晴美(新町)
 - 植木 艶枝(伊佐)
 - 駒原 芳文(関宮)
 - 田中 文枝(外野)
 - 西谷 典子(梨ヶ原)
- 以上5名の方が当選されました。おめでとうございました。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

心配ごと相談・結婚相談

13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ◆ 1月24日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 2月7日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 2月14日(金) 社協養父支部
- ◆ 2月21日(金) 大屋保健センター

弁護士による無料法律相談

13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成26年3月19日(水)
- 場 所 地域交流センター「福祉の杜」
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

くらしの法律相談

8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月~金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



はなか
栃尾 華佳ちゃん 3歳6ヵ月(中)
ひ
陽那ちゃん 10ヵ月(左)
ようすけ
陽介ちゃん 10ヵ月(右)
(大杉・姉弟)

うちげえの

宝

お母さんの環さんに聞きました♪

◆名前はどうにつけましたか？

華佳は響きも良く、華やかで思いやりのある子になってくれるように、双子の陽那と陽介は明るく温かい子になってくれるように名づけました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？

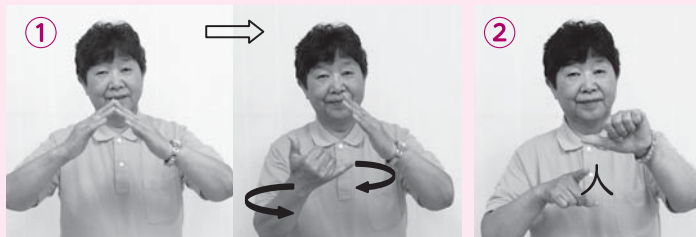
華佳は絵本が大好きで、陽那は立ちがしたいみたいで、陽介は床をたたいて音を出すのが楽しいみたいです。

◆ご両親から一言メッセージ

3人の笑顔が大好きだよ。姉弟仲良く元気いっぱい遊んで大きくなってね。

みんなの手話教室 「自己紹介編」part3

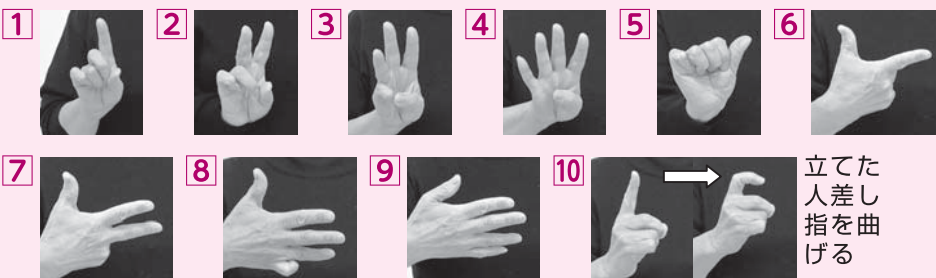
【家族は5人です】



「家族」

「5人」

【関連単語】



立てた人差し指を曲げる

手話は、手指の動きや表情、動作などで表す言葉で、目で見える言葉です。耳が不自由な人とのコミュニケーションだけでなく、様々な場面で広がってきています。今回は、八鹿手話サークルの佐々木さんから家族紹介や数字の手話を教わりました。

ワンポイント

手話で大切なことは、伝えたいことを正確に分かってもらうことです。声を出しながら動作はゆっくり大きく、表情豊かに表わしましょう。

八鹿手話サークル 佐々木さんより

第1~第3土曜日の13:30~15:30に八鹿公民館で教室をしています。手話に興味がある方は、ご参加ください。

